

マレーシアにおける新型コロナウイルスの感染状況等について

本資料は、在留邦人の方々の判断に資する参考資料として、マレーシア政府等の最新の公開データを基に作成したものです。更新頻度は週1回を予定しており、その間には一部最新でない情報が含まれる事もありますが、その点ご注意ください。

(内容)

1. 感染状況（全体、死亡例、カテゴリー別／B I D、州別、実効再生産数、変異株）
2. 病床状況（政府系・私立系病院のコロナ用病床状況、クランバレー地域使用率推移）
3. ワクチン（調達状況、クランバレー地域のウォークイン接種、接種状況、見込み）
4. 国家回復計画（NRP）
5. 陽性者等への対応

令和3年8月6日
在マレーシア日本国大使館

1. 感染状況

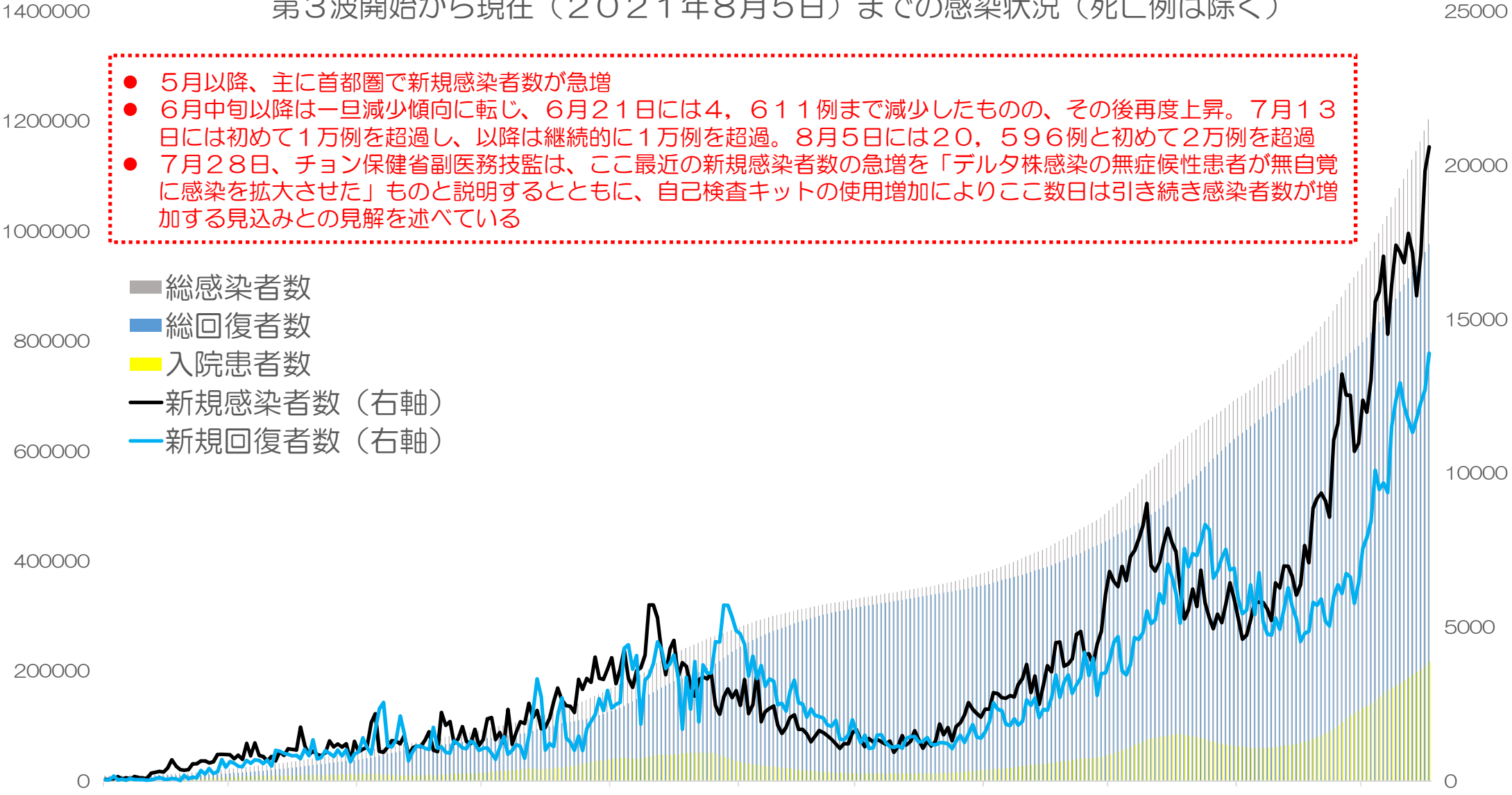
(全体、死亡例、カテゴリー別／B I D、州別、実効再生産数、変異株)

第3波開始から現在（2021年8月5日）までの感染状況（死亡例は除く）

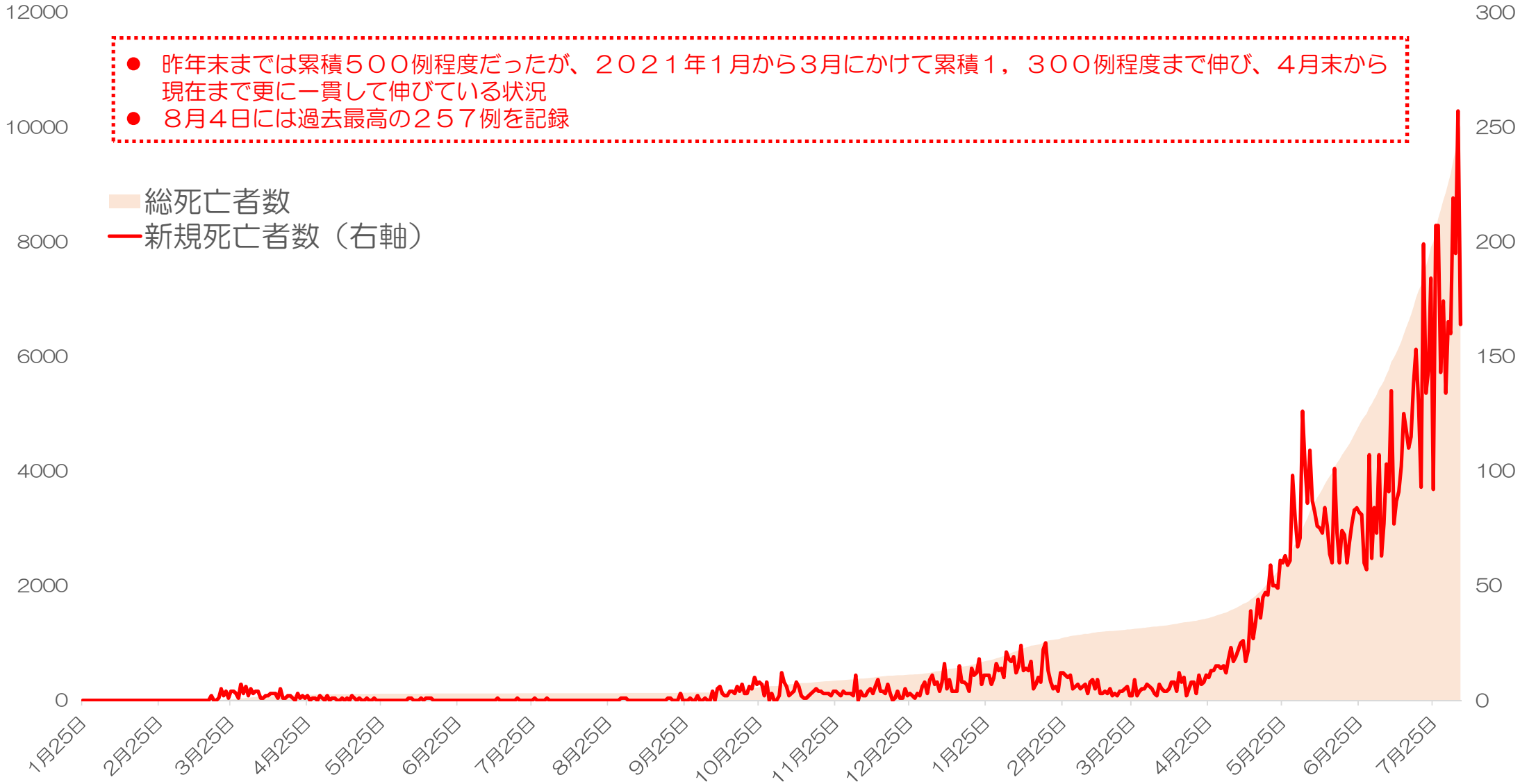
- 5月以降、主に首都圏で新規感染者数が急増
- 6月中旬以降は一旦減少傾向に転じ、6月21日には4,611例まで減少したものの、その後再度上昇。7月13日には初めて1万例を超過し、以降は継続的に1万例を超過。8月5日には20,596例と初めて2万例を超過
- 7月28日、チョン保健省副医務技監は、ここ最近の新規感染者数の急増を「デルタ株感染の無症候性患者が無自覚に感染を拡大させた」と説明するとともに、自己検査キットの使用増加によりここ数日は引き続き感染者数が増加する見込みとの見解を述べている

- 総感染者数
- 総回復者数
- 入院患者数
- 新規感染者数（右軸）
- 新規回復者数（右軸）

9月20日 10月20日 11月20日 12月20日 1月20日 2月20日 3月20日 4月20日 5月20日 6月20日 7月20日



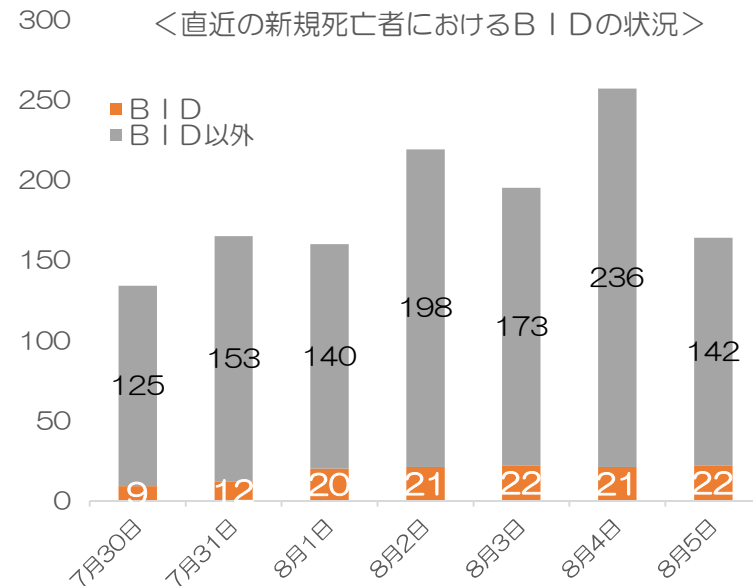
2020年1月から現在（2021年8月5日）までの死亡例推移



直近の新規感染者の 카테고리別報告及び新規死亡者における B I D の状況

- 7月16日、マレーシア保健省が新規感染者の 카테고리別割合（重症度別割合）の公表を開始。更に7月26日以降は各 카테고리感染者のワクチン未完了率も公表されている
- 当該 카테고리報告はあくまで感染報告時点での重症度を表すものであり、その後の悪化・改善を反映できていない点に留意が必要なものの、本データより、報告時点では98%近くが「 카테고리1（無症候）」又は「 카테고리2（軽症）」であり、また感染者のほとんどがワクチン未完了者であることが明らかとなった
- 8月5日、ザフルル国家回復計画（NRP）調整担当大臣は、州毎のNRPの段階を「新規感染者のうちの重症者（ 카테고리3から5）割合」に基づき移行させる旨発表。移行に係る具体的な閾値の説明はなく、また現時点で州毎の 카테고리別割合の公表はないものの、今後は州別の 카테고리別割合の公表が期待される
- 一方、直近の新規死亡者数のうち、5～15%近くが病院搬送時に死亡しているため、陽性者においては体調変化に十分留意頂き、体調に不安のある場合には、早期に保健所・CAC・病院等に連絡し、治療介入を求めるようにすることが重要

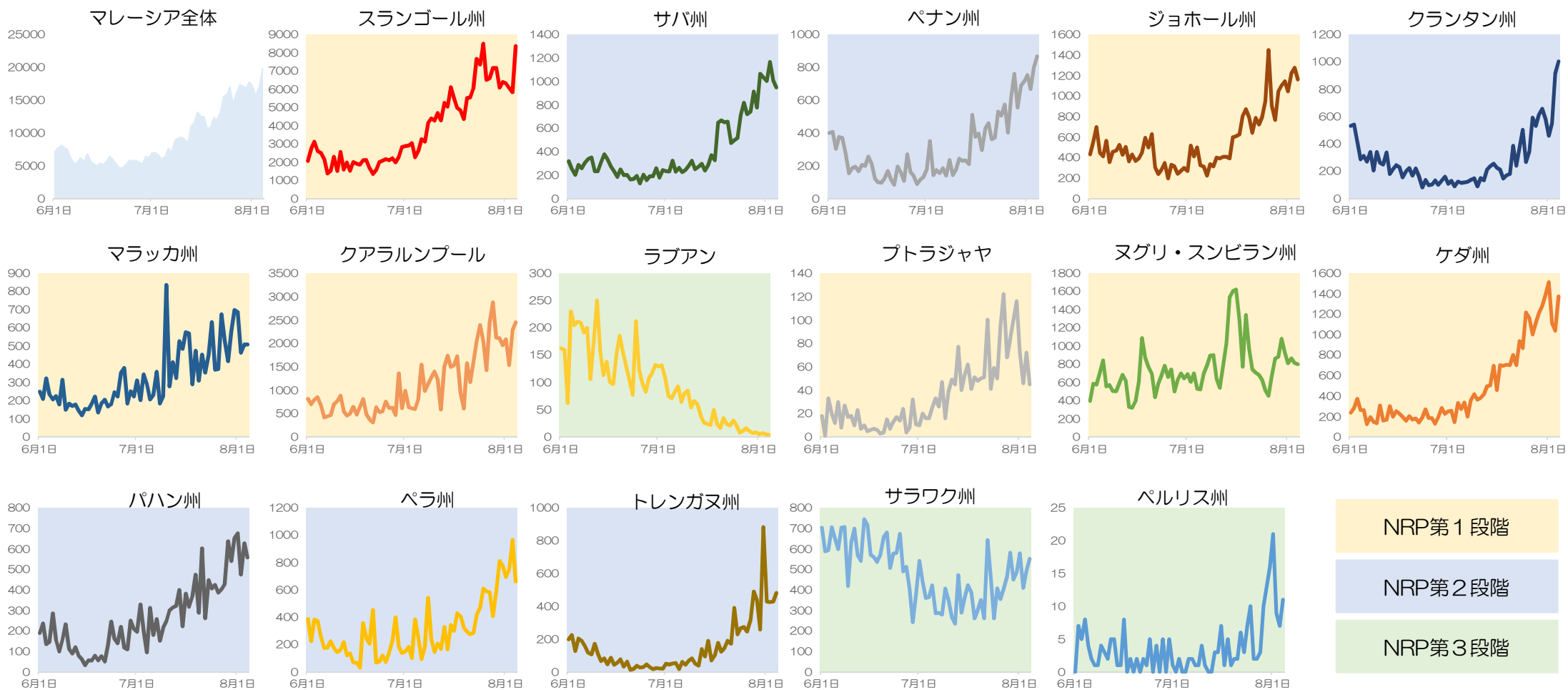
	7月31日			8月1日			8月2日		
	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合
카테고리1	9377	52.7%	92.1%	10032	58.5%	90.6%	8783	55.7%	87.7%
카테고리2	8149	45.8%	72.7%	6373	37.2%	72.3%	6695	42.5%	64.5%
카테고리3	165	0.9%	64.2%	574	3.3%	75.1%	135	0.9%	63.7%
카테고리4	62	0.3%	82.3%	65	0.4%	70.8%	64	0.4%	73.4%
카테고리5	33	0.2%	87.9%	106	0.6%	92.0%	87	0.6%	97.7%
	8月3日			8月4日			8月5日		
	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合	陽性者数	割合	うち、 ワクチン未完了者割合
카테고리1	8268	48.3%	90.5%	10001	50.5%	91.6%	10814	52.5%	88.1%
카테고리2	8520	49.8%	73.5%	9443	47.6%	71.7%	9384	45.6%	64.9%
카테고리3	135	0.8%	64.4%	180	0.9%	66.1%	205	1.0%	70.2%
카테고리4	85	0.5%	78.8%	108	0.5%	90.7%	79	0.4%	87.3%
카테고리5	97	0.6%	91.8%	87	0.4%	90.8%	114	0.6%	92.1%



カテゴリ1：無症状 カテゴリ2：症状あり カテゴリ3：症状あり、肺炎あり
 カテゴリ4：症状あり、肺炎あり、酸素補助必要（ICU） カテゴリ5：多臓器に影響がある重症（ICU）

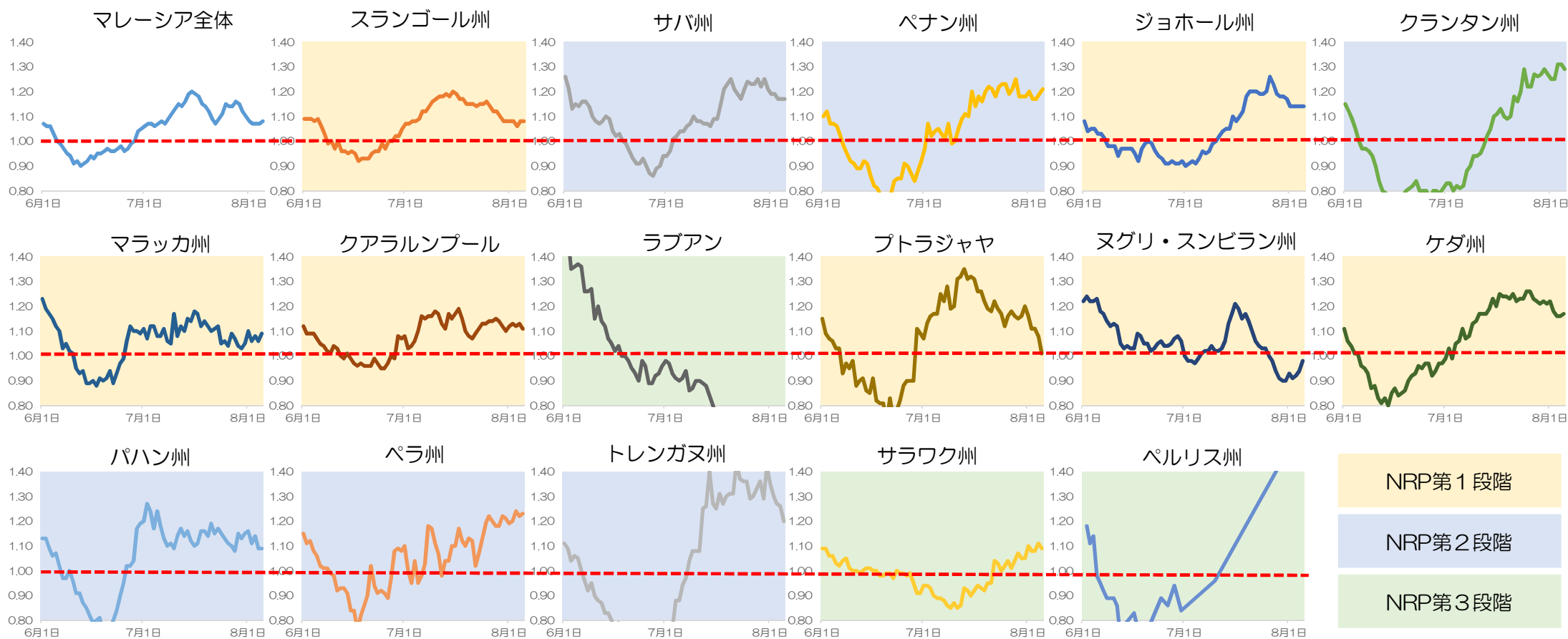
2021年6月から現在（2021年8月4日）までの州別新規感染者数の推移

- ラブアン、プトラジャヤでは減少傾向にあるが、ほとんどの州では増減を繰り返しており安定していない
- 8月4日現在、スランゴール州、サバ州、ペナン州、クランタン州、クアラルンプール、ケダ州、パハン州、ペラ州及びサラワク州では特に感染が拡大しているが、時期及び地域により変動があるため、引き続き各州の状況を注視する必要



2021年6月から現在（2021年8月5日）までの州別実効再生産数の推移

- マレーシア全体での実効再生産数は6月28日以降「1.0」を超過し、7月15日時点で「1.20」まで増加。その後一旦は減少したが安定せず、8月5日時点で「1.08」を記録している
- 8月5日現在、ラブアン（0.64）、ヌグリ・スンビラン州（0.98）を除く全ての州で「1.0」を超過し（ペルリスは感染者数が少ないため算出不能）、特にクランタン州（1.29）、ペラ州（1.23）、ペナン州（1.21）、トレンガヌ州（1.20）が特に高い状況にあるが、時期及び地域により変動があるため、引き続き各州の状況を注視する必要



変異株検出状況（2021年8月5日時点）（※先週から更新なし）

WHOが指定するVOCのマレーシアにおける検出状況は以下のとおり。

- ① B. 1. 1. 7（いわゆる「英国型」「アルファ株」）：14例検出（国内9、輸入5）
- ② B. 1. 351（「南アフリカ型」「ベータ株」）：206例検出（国内205、輸入1）
- ③ B. 1. 1. 28. 1（「ブラジル型」）：未だ検出されていない
- ④ B. 1. 617（「インド型」「デルタ株」）：199例検出（国内189、輸入10）

総ゲノム解析数は2021年7月17日までで計632例。

これを7月17日時点の累積陽性症例数（905,851例）で割り戻すと、全陽性症例の「0.070%」がゲノム解析されていることとなり、従って、現時点におけるマレーシアの変異株流行状況全体を捉えるのは困難であることに留意する必要がある。

なお、7月18日付保健省発表によると、7月1日から7月12日までにゲノム解析された検体は48例で、その結果は以下のとおり。検体の採取場所についての情報はないため、地域差を考慮する必要はあるものの、現在感染した場合、それがデルタ株である可能性は高いと考えられる。

- 非VOC/VOI：11例（23%）
- ベータ株：11例（23%）
- デルタ株：26例（54%）

2. 病床状況

（政府系・私立系病院のコロナ用病床状況、クランバレー地域におけるコロナ用ICU病床使用率推移）

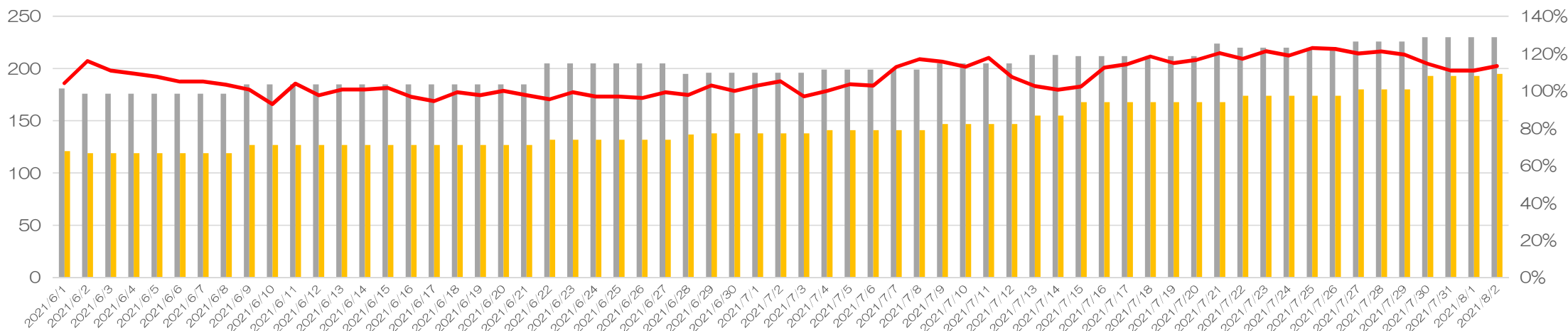
政府系・私立系病院のコロナ用病床の状況

- 7月18日付保健省発表資料によると、政府系病院でのコロナ用一般病床数及びその使用状況は以下のとおり
 コロナ用一般病床：13,229床のうち、10,331床（78%）が使用中（※前週より使用率は6%増加）
- 他方、同時点における私立系病院でのコロナ用一般・ICU病床数及びその使用状況は以下のとおり
 コロナ用一般病床：1,285床のうち、795床（62%）が使用中（※前週より使用率は8%増加）
 コロナ用ICU病床：128床のうち、107床（84%）が使用中（※前週より使用率は19%増加）
- なお、①上記患者には「感染疑い（Suspected/Probable case）」も含まれている点、②全国値であり州別の状況は不明である点に留意する必要がある
- また、7月24日より保健省が州別の病床数等の統計データ公表を開始（<https://github.com/MoH-Malaysia/covid19-public>）
- 8月2日時点の各州の政府系病院のコロナ用ICU病床数及び利用状況についてまとめたところ、以下のとおり（クランバレー地域の利用率推移については別スライド参照）
- 8月2日時点で、クランバレー地域は先週と比して若干利用率が下がっているものの、引き続き約半数の地域で政府系病院のコロナ用ICU病床使用率は100%を超えている状況にあり、これら地域の在留邦人におかれては留意が必要。なお、実際に政府系病院のコロナ用ICUに入院できないとの在留邦人からの相談は現時点までに当館にはなされていない

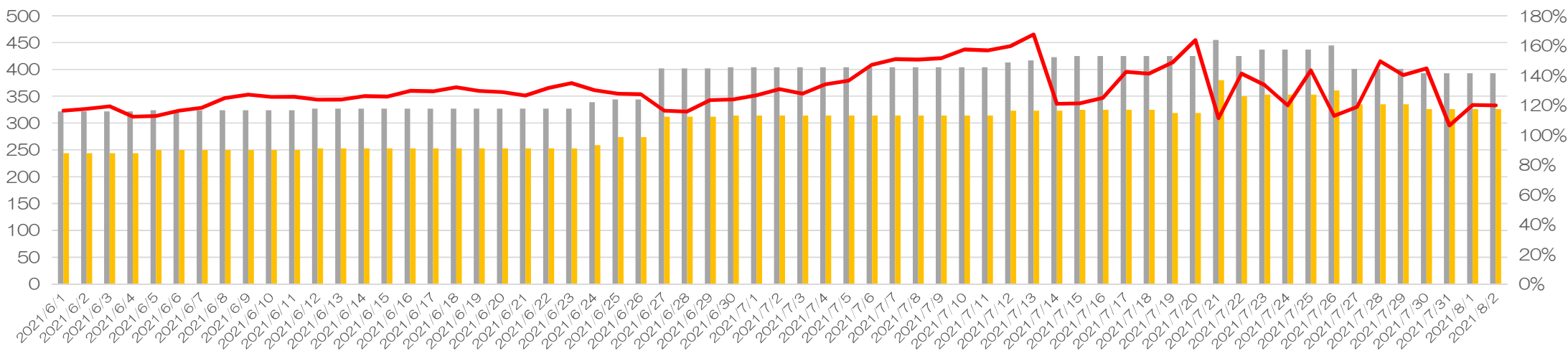
	全ICU病床数	コロナ用ICU病床数	コロナ用ICU病床への割当率	コロナ患者	コロナ疑い患者	コロナ用ICU病床使用率
ジョホール州	187	108	58%	130	0	120%
ケダ州	132	92	70%	138	0	150%
クランタン州	144	60	42%	41	0	68%
マラッカ州	136	92	68%	79	0	86%
ヌグリ・スンビラン州	89	63	71%	74	0	117%
パハン州	90	50	56%	55	0	110%
ペラ州	111	81	73%	120	0	148%
ペルリス州	16	8	50%	7	0	88%
ペナン州	80	65	81%	66	0	102%
サバ州	188	160	85%	112	0	70%
サラワク州	198	120	61%	25	0	21%
スランゴール州	393	326	83%	340	51	120%
トレンガヌ州	56	30	54%	24	0	80%
クアラルンプール	230	195	85%	221	0	113%
ラブアン	23	18	78%	2	0	11%
ブトラジャヤ	26	20	77%	17	0	85%

クランバレー地域における政府系病院のコロナ用ICU病床使用状況 ※保健省データより当館作成

クアラルンプールのコロナ用ICU病床使用状況



スランゴール州のコロナ用ICU病床使用状況



■ bed icu total (左軸)

■ bed icu covid (左軸)

— 病床使用率 (右軸)

3. ワクチン

(調達状況、クランバレー地域のウォークイン接種、接種状況、見込み)

ワクチン調達状況（8月5日時点）

	調達元	調達量	配布開始時期	薬事状況
1	ファイザー	4,480万回（70%相当）	2021/2/24	条件付承認（2021/1/8）※ベルギー工場 条件付承認（2021/3/2）※ドイツ工場 条件付承認（2021/6/15）※対象を12歳以上に拡大
2	アストラゼネカ	640万回（10%相当）	2021/5/5	条件付承認（2021/3/2）※オランダ 条件付承認（2021/4/2）※SKバイオサイエンス社（韓国） 条件付承認（2021/6/4）※サイアムバイオサイエンス社（タイ）
3	Sinovac	1,200万回（18.75%相当）	2021/3/18	条件付承認（2021/3/2）※完成品 条件付承認（2021/4/23）※ファーマニアガ社国内製造品
4	CanSino	350万回（10.9%相当）	2021/7末	条件付承認（2021/6/15）
5	スプートニクV	640万回（10%相当）	不明	申請済み（審査中）
6	JJ	不明	不明	条件付承認（2021/6/15）※COVAX経由 条件付承認（2021/7/16）※ベルギー工場製造
7	COVAX	640万回（10%相当）	2021/5/5	-
国家ワクチンプログラムのポートフォリオ上で記載があるのは上記まで。 以下のワクチンは記載なく、民間ベースでのみ流通する見込み（詳細未定）				
8	Sinopharm	不明	不明	条件付承認（2021/7/16）
9	モデルナ	不明	不明	条件付承認（2021/8/5）

2021年7月18日、ムヒディン首相は自身のSNSにおいて、今後のワクチン接種方針について以下を表明した。

- ✓ スランゴール州及びクアラルンプールの成人人口の全員が、2021年8月1日までに、少なくとも1回のワクチン接種を受ける
- ✓ サラワク州の成人人口の全員が、2021年8月末までに、少なくとも1回のワクチン接種を受ける
- ✓ ほぼ全ての州で、2021年8月末までに、50%を超える接種率を記録する
- ✓ 全ての州で、2021年9月までに、70%を超える接種率を記録する
- ✓ マレーシア全土で、2021年10月までに、100%の接種率を記録する

クランバレー地域でのウォークインワクチン接種

- 2021年7月17日（土）以降、クランバレー地域在住の高齢者（60歳以上）の方であって、かつ、MySejahteraアプリ等で未だ予約を受けていない方については、同地域にあるワクチン接種センターにて、予約無しで「ウォークインワクチン接種」をすることが可能です。
- また、2021年8月9日（月）以降、同地域在住者に対して順次「ウォークインワクチン接種」が拡大されます。

8月9日（月）～11日（水）：40歳以上又は基礎疾患を有する方

8月12日（木）～22日（日）：18歳以上の方（40歳以上又は基礎疾患を有する方を含む）

（※いずれの日も開始時間は14時）

- 利用を希望される方におかれては、以下をご持参ください。

クランバレー地域在住であることを示すもの（運転免許証、クレジットカード明細、雇用証明書、学生証等）
（基礎疾患を有する場合、）医師のレター又は健康状態を証明する書類

- なお、外国人向けの接種場所は「Stadium Nasional Bukit Jalil」のみとなりますのでご注意ください。
- 本制度の利用は未だ1回目の接種日通知を受けていない方に限られます。2回目接種のみ本制度を利用する、などはできず、アプリ上で接種日通知が来ている場合はそちらが優先されますので、その点ご注意ください。
- また、他の地域でも近く「ウォークインワクチン接種」が開始される見込みです。

ワクチン接種状況（8月5日時点）及び供給見込み（8月5日付NRPLレポート）

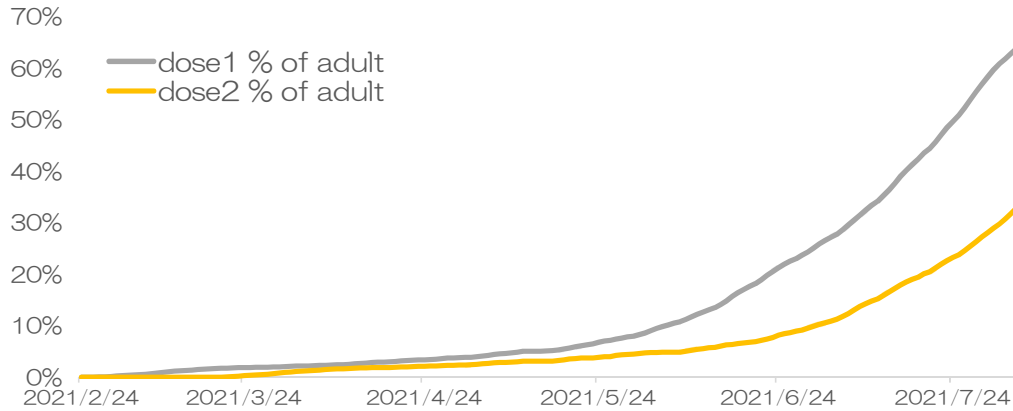
- 1回接種：全人口46.4%相当
（成人人口64.8%相当）
- 2回接種：全人口24.5%相当 ※日本では全人口32.1%相当
（成人人口34.2%相当）

- 8月下旬に成人人口100%分（2600万人分）のワクチンがマレーシアに到着予定

（参考：7月29日時点）

- 1回接種：全人口40.4%相当
（成人人口56.3%相当）
- 2回接種：全人口19.3%相当
（成人人口27.0%相当）

<成人人口当たり接種率推移>

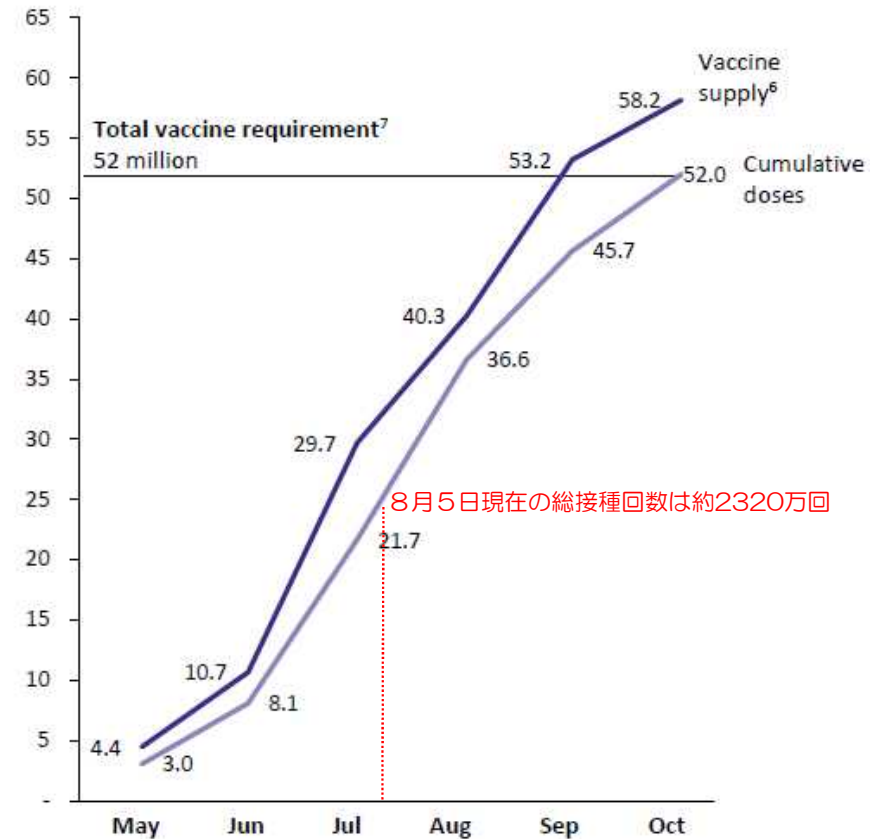


<副反応報告（7月5日報告）>

- 軽微なものも含めると1000回当たり「18.6件」
- 入院等を要した事例は1000回当たり「1.4件」
- ただし、長期入院や死亡事例等は報告されておらず、被害補償された者もない

Figure 4.3 Vaccine supply and planned doses in 2021

Vaccine doses (million doses)



4. 国家回復計画 (NRP)

国家回復計画（NRP）の概要

<国家回復計画（NRP）>

- (1) 段階は1から4まで設定。1が6月1日からの「完全ロックダウン」、4が州間移動も認められる緩和された規制。
- (2) 各段階の移行は、①新規感染症例数、②公衆衛生システム状況（ICU病床使用率等）、③ワクチン2回接種率に基づき検討・判断され、具体的な要件は下表のとおり。8月5日、今後は、新規症例数に代えて、カテゴリー3（重症）以上の症例数を考慮する旨発表あり。
- (3) 2021年7月3日以降、州別に各要件を評価し、段階移行させることを発表。併せて「人口10万人当たり新規症例数」及び「成人ワクチン2回接種率」に要件を変更。これに基づき、6州（ペラ州、クランタン州、トレンガヌ州、パハン州、ペナン州及びサバ州）が第2段階へ、8月4日から3州（ペルリス州、サラワク州及びラブアン）が第3段階へ移行。州毎の要件への該当状況は次スライドのとおり。
※ただし、「強化された活動制限令」（EMCO）対象地域では、より厳格な規制が適用される。なお、スランゴール州及びクアラルンプールの一部地域に対して課せられていたEMCOは7月16日付で終了。

段階	規制概要	当該段階への移行要件		
		1日あたり人口10万人当たり新規感染症例数	ICU病床使用率	成人ワクチン2回接種率
第1段階	6月1日からの完全ロックダウン			
第2段階	経済活動を段階的に許可（出勤率最大80%）	12.2以下	中程度（恐らく50~70%）	10%
第3段階	早ければ本年8月に移行予定 基本的に全ての産業が稼働（出勤率最大80%） 議会開会（9~10月頃見込み）、教育・社会・スポーツ活動を段階的に許可	不明	50%未満	40%
第4段階	早ければ本年10月に移行予定 全ての産業が稼働し、州間移動も可能	不明	50%未満	60%

<国家回復計画第1段階> ※現在、クランバレー地域ほか4州で施行中

- (1) 生活必需品購入のための外出は一世帯から2名まで、居住地から半径10キロメートル以内
- (2) 原則、在宅勤務（農業、漁業、畜産業、プランテーション業等の一部の産業は出勤制限なし、一部製造業及び生活産業関連は従業員数の60%を上限とし出勤可）。
- (3) 飲食店での店内飲食は不可（持帰り・ドライブスルー・宅配は可、営業時間は午前8時から午後10時まで）。
- (4) 企業イベント、大規模参加型スポーツイベント、映画館、美術館・博物館は休業。学校閉鎖。

各州におけるNRP要件（第2・第3段階への移行基準を満たしていないものは赤字）

	人口10万人当たり新規感染症例数 ※7/29-8/4の平均（※1）	ICU病床利用率 （8月2日時点）	成人ワクチン2回接種率 （8月5日時点）	国家回復計画の段階
ペルリス州	4.9	88%	47.1%	3（8/4～）
ケダ州	58.4	150%	24.2%	1
ペナン州	40.6（※2）	102%	25.8%	2（7/7～）
ペラ州	29.9（※2）	148%	27.6%	2（7/5～）
スランゴール州	101.2	120%	45.5% （スランゴール+KL+プトラジャヤ）	1
ヌグリ・スンビラン州	78.0	117%	45.7%	1
マラッカ州	59.2	86%	31.1%	1
ジョホール州	30.3	120%	19.0%	1
パハン州	35.5（※2）	110%	25.1%	2（7/5～）
トレンガヌ州	38.3（※2）	80%	30.5%	2（7/5～）
クランタン州	36.2（※2）	68%	24.2%	2（7/5～）
サバ州	25.6（※2）	70%	15.8%	2（7/10～）
サラワク州	18.0（※2）	21%	70.2%	3（8/4～）
クアラルンプール	116.7	113%	45.5% （スランゴール+KL+プトラジャヤ）	1
プトラジャヤ	73.6	85%	45.5% （スランゴール+KL+プトラジャヤ）	1
ラブアン	6.9	11%	83.9%	3（8/4～）

※1：8月5日、ザフルルNRP調整担当大臣から「今後は新規感染症例数に代えて、カテゴリー3（重症）以上の症例数を考慮する」旨の発表があったが、現時点で詳細不明なため、暫定的に人口10万人あたり新規感染者数を記載しているもの。

※2：7月14日、ザフルルNRP調整担当大臣は、第2段階へ移行した州は第1段階へ戻ることは無い旨述べている。

5. 陽性者等への対応

陽性者への対応

- 基本的な陽性者の治療は[保健省ガイドライン](#)で以下と規定。
- 成人の場合、多くの陽性者はカテゴリー1から3。50歳以上や基礎疾患（糖尿病、高血圧等）を有している方は、より重症化する可能性が高い。臨床的な悪化は約10-15%の症例で起こり、軽症が見られてから5-12日以内に新たな呼吸器症状が生じたり、悪化したりする可能性。
- 小児の場合、一般に軽症の経緯を迎えることが確認されているため、カテゴリー4及び5も含め基本的には支持療法が推奨。必要に応じて解熱剤（アセトアミノフェン）、抗生剤（アモキシシリン）、ステロイド（デキサメタゾン）、抗ウイルス薬（レムデシビル）等が使用される。

Clinical Stage	症状の有無・程度	治療方針（成人） ※2021/4/28時点	治療方針（小児） ※2021/4/28時点
1	無症状	無治療	支持療法
2	症状あり 肺炎なし	無治療 (バイタルサイン及び酸素飽和度はフォロー)	
3	症状あり 肺炎あり	基本的には無治療 (バイタルサイン及び酸素飽和度はフォロー) ただし、以下のハイリスク者についてはステージ4相当として「ファビピラビル（アビガン）」を投与 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎疾患を持つ50歳以上の者 ・末期腎不全患者 ・危険兆候（※）のある者 ※持続的発熱、食欲不振、呼吸障害、CRP上昇等	
4	症状あり 肺炎あり 酸素補助必要	抗ウイルス薬投与（ファビピラビル） 免疫調節（デキサメタゾン、メチルプレドニゾン）等	
5	多臓器に影響がある重体	ICUケア	

濃厚接触者への対応

保健省ガイドライン（2021/04/22）での定義は以下のとおり。

- ①適切なPPEを使用せずに陽性患者をケアし暴露した医療者等
- ②陽性患者と同世帯の者
- ③陽性患者と同空間で近接して勤務した者
- ④陽性患者と共に旅行した者

実際は、保健所職員の感染者聞き取りにより特定。「症状発症14日前」までの者が濃厚接触者として該当する可能性あり。

（以下、濃厚接触者として特定された場合の流れ）

保健所から連絡があるため、その指示に従い、COVID-19検査（無料）を受ける（※）



検査後から結果が出るまでの間は、リストバンドを付与された上、自宅隔離指示が発出される



（検査陽性の場合）（※）

- ◆ 無症候又は軽症の場合であって「コロナ評価センター（CAC；Covid-19 Assessment Center）」による評価の結果自宅隔離が認められた場合は、自身で健康状態をチェック・報告しつつ、検査日から起算して最低10日間、自宅隔離を継続。中等症以上（次スライドステージ3以上）の場合は、COVID-19対応病院へ搬送。
- ◆ なお、感染者急増のためCACから連絡が遅れる場合があるが、健康に不安を感じる場合は自らCACへ連絡することが推奨される。（各州毎のCAC連絡先； <http://covid-19.moh.gov.my/hotline>）

（検査陰性の場合）

- ◆ 自身で健康状態をチェック・報告しつつ、検査日から起算して14日間、自宅隔離を継続
- ◆ 隔離13日目に迅速抗原検査を実施。陰性結果の返却の際、リストバンド除去され、隔離終了
- ◆ 途中で症状を示した場合又は隔離13日目検査陽性の場合、上記病院等へ搬送される

（※）7月26日以降、クランバレー地域については、無症状の濃厚接触者は検査不要でそのまま自宅隔離措置、陽性者（無症状又は軽症）も自宅隔離とされている（詳細は次スライド参照）

クランバレー地域における陽性者がすべき対応

- **速やかに10日間自宅隔離**に服すること（家族が同居する場合は自身を家族から隔離）
- MySejahteraアプリを通じて、「**デジタル自宅隔離指示**」を受領すること
- アプリの自宅評価ツール（HAT）を使用して、**連日の健康状態を監視・報告**すること（日々の健康状態の報告がされない場合、保健省からメッセージ又は電話連絡を受ける）
- 無症状の場合は自己監視を継続し、**症状を呈し始めた場合又はハイリスクグループ（基礎疾患を有する方など）の場合、物理的にCACへ出頭**する必要がある
- **呼吸困難を呈した場合又は緊急措置が必要になった場合には最寄りの病院へ**かかること
- 連日報告される健康状態はバーチャルCACによりモニタリングされ、対応が必要な場合はCACから連絡を受ける
- **助けが必要な場合は、「CACヘルプライン」又は「03-7723-9299」へ連絡**すること。これらの連絡先は連日8:00-21:00に対応可能

（保健省による説明動画（英語））

<https://www.facebook.com/myhealthkkm/videos/535732911076941/?vh=e&d=n>

（当館HP）

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ia/newinfo_27072021.html

- なお、当館では「私立病院」への入院を希望する陽性者から多くの問い合わせをこれまでに受けているが、私立病院のコロナ用病床数は非常に限られており、邦人に限らず、入院を希望しても満床を理由に断られるケースが多数報告されている。一方で、そのようなケースも含め、政府系病院にも入院できなかったという相談は当館には寄せられていないところ。
- 最も危険なことは、自宅隔離中に短時間で症状が悪化して重症化することであり、これを避けるためには、健康状態に不安のある方におかれては、「政府系病院」も含め、早期に受診することを最優先に対応することが肝要。

低リスク隔離・治療センター（PKRC）

- 「カテゴリー1又は2」の者については、**基本的には一定期間ただ隔離されるだけ（無治療）**のため、COVID-19対応病院ではなく、**低リスク隔離・治療センター（PKRC）**への搬送又は**自宅隔離**となる（自宅隔離の可否は前述のとおりCACが評価を行う）。
- PKRCは隔離に特化した施設（政府の研修センターなどを隔離用に作り替えたもの）のため、**COVID-19対応病院より環境が良くないことを覚悟**する必要。実際の事例として、衛生的・防犯上の理由からシャワーやトイレに行きづらく、また食事の際にスプーンなども配布されないという相談あり。この際は、保健省及び当該PKRC責任者に改善を申し入れ、同日中に別のPKRCへ移送された。現在は、PKRCへ搬送されうる「ステージ1（無症候）」及び「ステージ2（軽症）」の者については自宅隔離が認められたが、PKRCへ搬送され、隔離生活において衛生上又は防犯上の問題がある同様のケースの場合は当館にご相談を。



（邦人が入所したPKRCの例）
二人部屋、軽症者の外国人と同室



（邦人が入所したPKRCの例）
大部屋に多数の外国人と同居



スプーン等も
配布されない食事

- なお、5月21日以降、PKRC隔離をホテル隔離（有料）に切り替えることも可能。詳細は以下当館HP参照のこと。

PKRC隔離からホテル隔離への切り替えについて（2021年5月21日）

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/newinfo_21052021.html

退院基準等

- （成人の場合、）ステージ3以上の場合は、COVID-19対応病院で前述の治療を受ける。当該病院は、KLではKL病院、スランゴール州ではスンガイブロー病院等と政府により予め政府系病院が指定されており、邦人がよく利用する私立病院などは通常選択できないが、自身で私立病院の空き病床を確保することで、私立病院への入院も可能。ただし、前述のとおり私立病院のコロナ用病床は政府系病院と比較して非常に限られているため満床で入れない場合も多く、その場合は、私立病院が空くのを無治療で待つことなく、政府系病院へ入院することも検討する必要。（急変に備えた対応を図ることが肝要）
- 現行の退院基準（2021/5/28時点）は以下のとおり。当初無症状だが途中発症した場合、発症日起算でカウントし直されるため留意が必要。
 - ①有症状（カテゴリー1～3）かつ重篤な免疫障害の無い者は、以下3点を全て満たした場合に退院可能
 - ・症状発症後、少なくとも10日間経過していること
 - ・解熱剤なしで解熱してから、少なくとも24時間経過していること
 - ・呼吸困難、咳など他の症状が改善していること
 - ②無症状の者は、「PCR検査で陽性が確認された日から起算して10日経過」した場合に原則退院可能。
 - ③有症状（カテゴリー4～5）又は重篤な免疫障害のある者は、以下3点を全て満たした場合に退院可能
 - ・症状発症後、少なくとも10日間（最長20日間）経過していること
 - ・解熱してから、少なくとも24時間経過していること
 - ・他の症状が改善していること
- なお、退院の際に検査は行われぬ。また早期退院が認められた場合は、上記要件を満たすまで引き続き自宅隔離することが求められる。

自己検査キット

- 7月21日以降、マレーシア国内では自己検査キット（迅速抗原検査）が複数流通。これら自己検査キットは薬局等において購入が可能であり（現在の販売価格は約40リンギ）、感染に不安のある方や就業前・渡航前等の場面で予め感染の有無を確認したい方においては有用なものだが、使用に際しては以下の点に留意すること。
 - ✓ 自己検査キットは感染を迅速かつ容易に検出できるが、RT-PCR検査による診断に代わるものではないこと
 - ✓ 自己検査キットを使用する前には、使用説明書を良く確認するとともに、キットツールが全て揃っていること、有効期限を過ぎていないこと、破損していないことを確認すること
 - ✓ 使用前には手を良く洗浄し、検査実施エリアを清潔にすること
 - ✓ 他の者が検査実施を補助する場合は、感染防止のためマスクと手袋を着用すること
 - ✓ 破棄の際は、キットツールが全てプラスチックに包まれ適切に固定されていること（破棄はゴミ箱で構わない）
 - ✓ 検査実施後、適切な消毒液で検査実施エリアの消毒を行うとともに、自身も良く手を洗浄すること
 - ✓ 検査結果が陽性の場合、結果をMySejahteraに報告すること。報告後、健康状態の評価及び今後の対応のために、医療機関、コロナ評価センター（CAC）等に出頭することが求められる（注：別途の案内のとおり、クランバレー地域在住者であって、無症状又は軽症の方はCACへの出頭は不要）。なお出頭の際は、公共交通機関の利用は避けること
 - ✓ 検査結果が陰性だが症状のある場合は、医療機関や保健所で健康状態を確認すること。なお、濃厚接触者の場合は、隔離期間が完了するまで強制隔離に服する必要があること
 - ✓ 検査結果が無効の場合は、検査を繰り返すこと
- 当局により承認されている製品リスト及び使用法（動画）は以下保健省サイトを参照のこと。
<https://covid-19.moh.gov.my/garis-panduan/gp-umum-covid19/kit-ujian-kendiri-covid19-self-test-kit>
- なお、自己検査キットの結果はMySejahteraアプリを介して当局へ報告する必要があるが、同機能は7月29日付アップデートで可能になっているため、キット利用の前にはアップデートを忘れずに行うこと。